授業科目	＊助産診断・ケア学Ⅲ(産褥期)					実務家教員担当科目	○
単位	1	履修	必修	開講年次	1	開講時期	前期
担当教員	古賀　玉緒、山田　恵、新郷　朋香						
授業概要	教員は総合病院・クリニック・助産院などの施設における助産師経験および臨地実習の指導経験をいかして講義を行う。 正常経過にある褥婦の身体・心理・社会的な経過について学修する。さらに、事例を用いて自己練習やグループワークに主体的に取り組み、母子一体の視点をふまえた褥婦の心身の回復や母親役割獲得に向けた助産ケアを習得する。						
授業形態	講義・演習				授業方法	ディスカッション、グループワーク	

学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	1．褥婦の身体・心理・社会的な正常経過について説明できる。 2．褥婦の身体回復や心理・社会的な適応に必要なケアについて根拠に基づき説明できる。 3．褥婦のケアに関する課題について主体的に取り組むことができる。 4．褥婦のケアを倫理的態度をふまえ安全安楽に実施できる。 5．褥婦の健康状態を把握するための診察技術を正しく習得できる。
理想的レベル	標準的レベルに達したうえで、褥婦や家族に関する課題や、対象のケアのために必要な自己の知識や技術の向上を目指して主体的に自律して学習に取り組むことができる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	70%	
小テスト		
レポート		
発表（口頭、プレゼンテーション）	20%	
レポート外の提出物	05%	
その他	05%	授業における発言、積極性を評価します。

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	MI21203J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
教科書や参考文献のテーマに該当する箇所を読み、重要箇所に下線や付箋を示し講義に臨む。	1

授業計画

第 1 回	テーマ：産褥期の身体的・心理的・社会敵診断とケア（1）　（古賀玉緒） ・産褥経過に伴う生理的変化と予防的ケアについて解説する。 全身の回復 退行性変化について

第2回	テーマ：産褥期の身体的・心理的・社会的診断とケア（２）　（古賀玉緒 林好美） ・身体的・心理的・社会的・文化的側面からじょく婦の健康状態を診断し、全身および退行性変化の回復に向けた支援に関する演習を行う。 退行性変化を促進させるためのケア 全身の回復を促すためのケア 退行性変化の促進や全身回復に関するセルフケア能力を高めるためのケア
第3回	テーマ：産褥期の身体的・心理的・社会敵診断とケア（３）　（古賀玉緒） ・産褥経過に伴う生理的変化と予防的ケアについて解説する。 進行性変化について 哺乳の方法について（母乳・人工）
第4回	テーマ：産褥期の身体的・心理的・社会的診断とケア（４）　（古賀玉緒 林好美） ・身体的・心理的・社会的・文化的側面からじょく婦の健康状態を診断し、進行性変化の促進に向けた演習を行う。 進行性変化を促進させるためのケア 授乳に関するセルフケア能力を高めるためのケア
第5回	テーマ：産褥期の身体的・心理的・社会敵診断とケア（５）　（古賀玉緒） ・産褥経過に伴う心理的特徴と予防的ケアについて解説する。 産後の経過に伴う褥婦の心理的変化について 母親への適応過程ついて 母子相互作用や愛着形成について
第6回	テーマ：産褥期の身体的・心理的・社会的診断とケア（6）　（古賀玉緒 ） ・身体的・心理的・社会的・文化的側面からじょく婦の健康状態を診断し、育児に必要な技術の習得に向けた演習を行う。 母児同室時における留意点の確認 抱き方や更衣などの方法
第7回	テーマ：産褥期の身体的・心理的・社会的診断とケア（7）（古賀玉緒） ・一か月健診までの褥婦の身体的・心理的変化と支援について解説する。 身体回復にむけたセルフケア 受胎調節（家族計画） 新しい家族としての再構築について
第8回	テーマ：産褥期の身体的・心理的・社会的診断とケア(8)(古賀玉緒) ・身体的・心理的・社会的・文化的側面からじょく婦の健康状態を診断し、退院に向けた支援に関する演習を行う。

	各避妊具の使用方法 一か月健診までにおける身体回復にむけたセルフケア
第 9 回	テーマ：保健指導の実際（１）　（古賀玉緒） ・産褥期の助産技術を学ぶ。 各育児技術の方法を確認しながらグループメンバーと協力し技術演習を主体的に取り組む。 〈1〉
第 10 回	テーマ：保健指導の実際（２）　（古賀玉緒） ・産褥期の助産技術を学ぶ。 各育児技術の方法を確認しながらグループメンバーと協力し技術演習を主体的に取り組む。 〈2〉
第 11 回	テーマ：保健指導の実際（３）　（古賀玉緒） ・産褥期の助産技術を学ぶ。 各自の課題を中心に技術試験にむけた自己学習に取り組む。
第 12 回	テーマ：保健指導の実際（４）　（古賀玉緒　山田恵　新郷朋香） ・模擬対象者に対する育児支援を実施する。（技術チェック）〈1〉
第 13 回	テーマ：保健指導の実際（４）　（古賀玉緒　山田恵　新郷朋香） ・模擬対象者に対する育児支援を実施する。（技術チェック）〈2〉
第 14 回	テーマ：特殊な状況にある褥婦の支援（古賀玉緒）（１） ・産後うつ、児の虐待ハイリスク要因となる周産期のメンタルヘルスについて解説する。
第 15 回	テーマ：特殊な状況にある褥婦の支援（山田恵）（２） ・事例をもとに支援について解説する。 -グリーフケアについて-
第 16 回	
第 17 回	
第 18 回	
第 19 回	
第 20 回	

第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	
テキスト	助産学講座 7 助産診断・技術学Ⅱ［2］分娩期・産褥期,我部山キヨ子他編,医学書院 助産師基礎教育テキスト　産褥期のケア　新生児・乳幼児のケア,江藤宏美編,日本看護協会出版会 今日の助産　マタニティサイクルの助産診断　改訂第 4 版,北川真理子他編,南江堂 根拠と事故防止から見た母性看護技術　第 3 版,石村由利子編,医学書院 病気がみえる Vol.10 第４版,上田森生他編,MEDIC MEDIA
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	産婦人科診療ガイドライン産科編 2023,日本産婦人科学会他編・監,日本産婦人科学会事務局,2023 助産業務ガイドライン 2019,日本助産師会他編・監,日本助産師会出版社 エビデンスに基づく助産ガイドライン―妊娠・分娩期・産褥期 2020―,日本助産学会 必要に応じて資料を配布します。
課題に対するフィードバックの方法	課題については適宜授業中で解説を行います。

学生へのメッセージ・コメント	既習した褥婦の生理や看護ケアを復習し、看護技術（沐浴・ラッチオン・ポジショニング・新生児の抱き方、寝かせ方・衣類の着脱・、排気の仕方・子宮底高の測定・子宮底の輪状マッサージなど）は、その目的や方法を理解し、正しく行えるように自己学習を行って臨んでください。 助産学実習へむけて必要な知識・技術を学びます。講義・演習では、主体的に参加し、演習時は身だしなみを整え、円滑に展開できるよう準備・後片付けも自主的に行って下さい。 感染予防ガイドラインを遵守し感染予防に努めましょう。